

平成26年度t-PA治療実績 (平成26年4月～平成27年3月)

1 報告件数

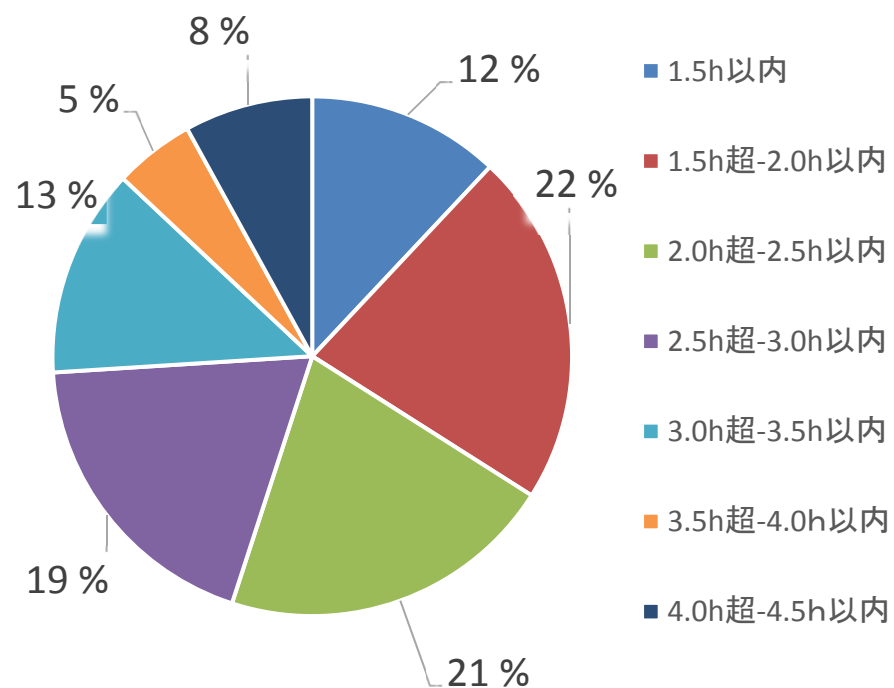
性別	人数(割合)
男性	170(58%)
女性	123(42%)
報告数	293

2 年齢分布

年齢	人数(割合)
～19	0 (0%)
20～64	49 (17%)
65～74	75 (26%)
75～	169 (58%)

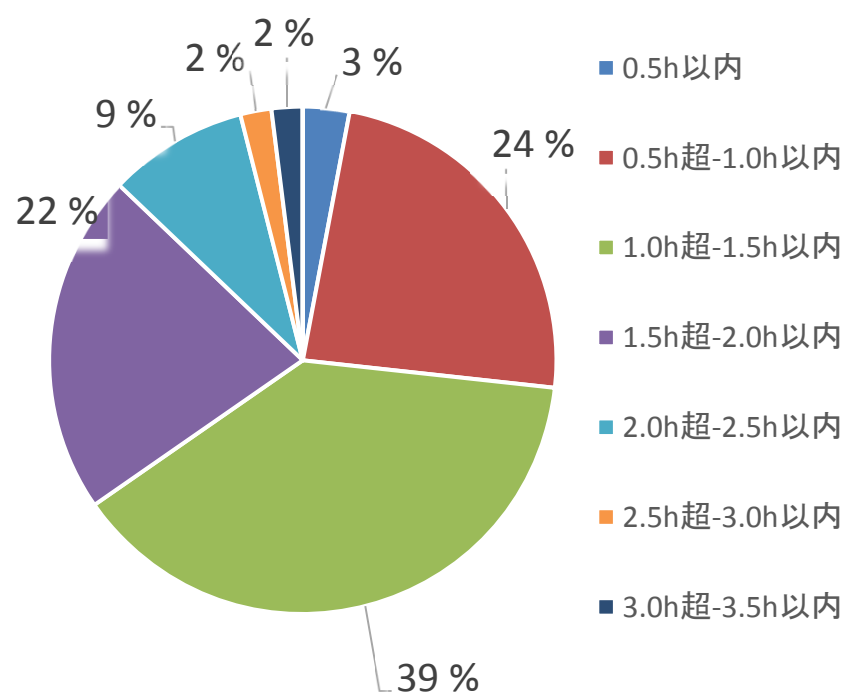
※H26 年齢幅は20歳～101歳、平均年齢 75歳

3 発症時刻からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間150分

4 病院到着からt-PA療法開始までの時間(hr)



平均時間81分

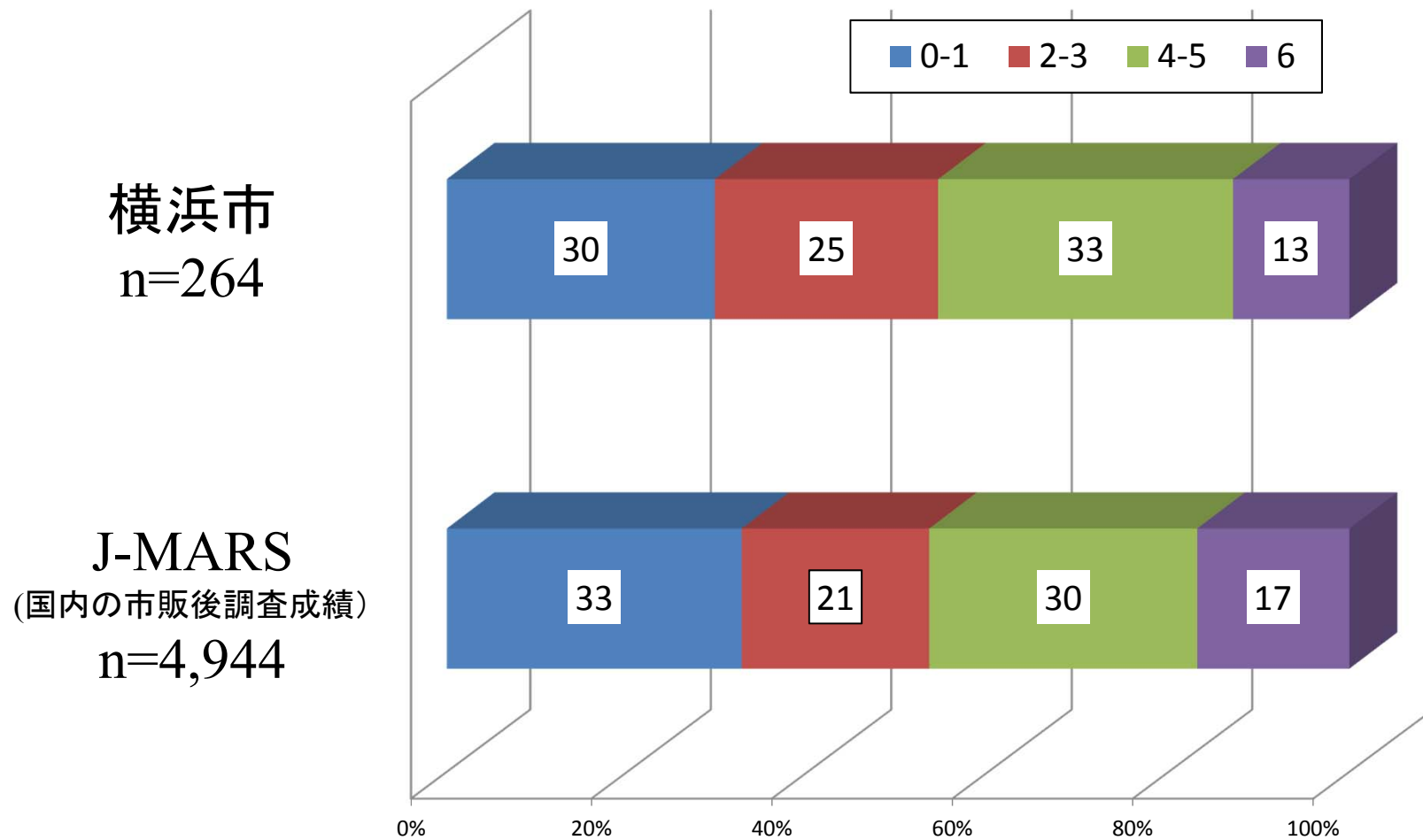
5-1 横浜市のt-PA治療実績と市販調査実績との比較

mRS	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【mRS3か月後】 (%)	30	25	33	12
市販調査成績 【mRS3か月後】 (%)	33	21	30	17

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと(下記表は日本脳卒中学会の資料を引用)

0	まったく症状なし
1	日常の勤めや活動は行える
2	身の回りのことは介助なしに行える
3	何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える
4	歩行や身体的要求には介助が必要である
5	寝たきり等常に介護と見守りを必要とする
6	死亡

5-2 横浜市のt-PA治療実績と市販調査実績の比較



6-1 平成26年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。

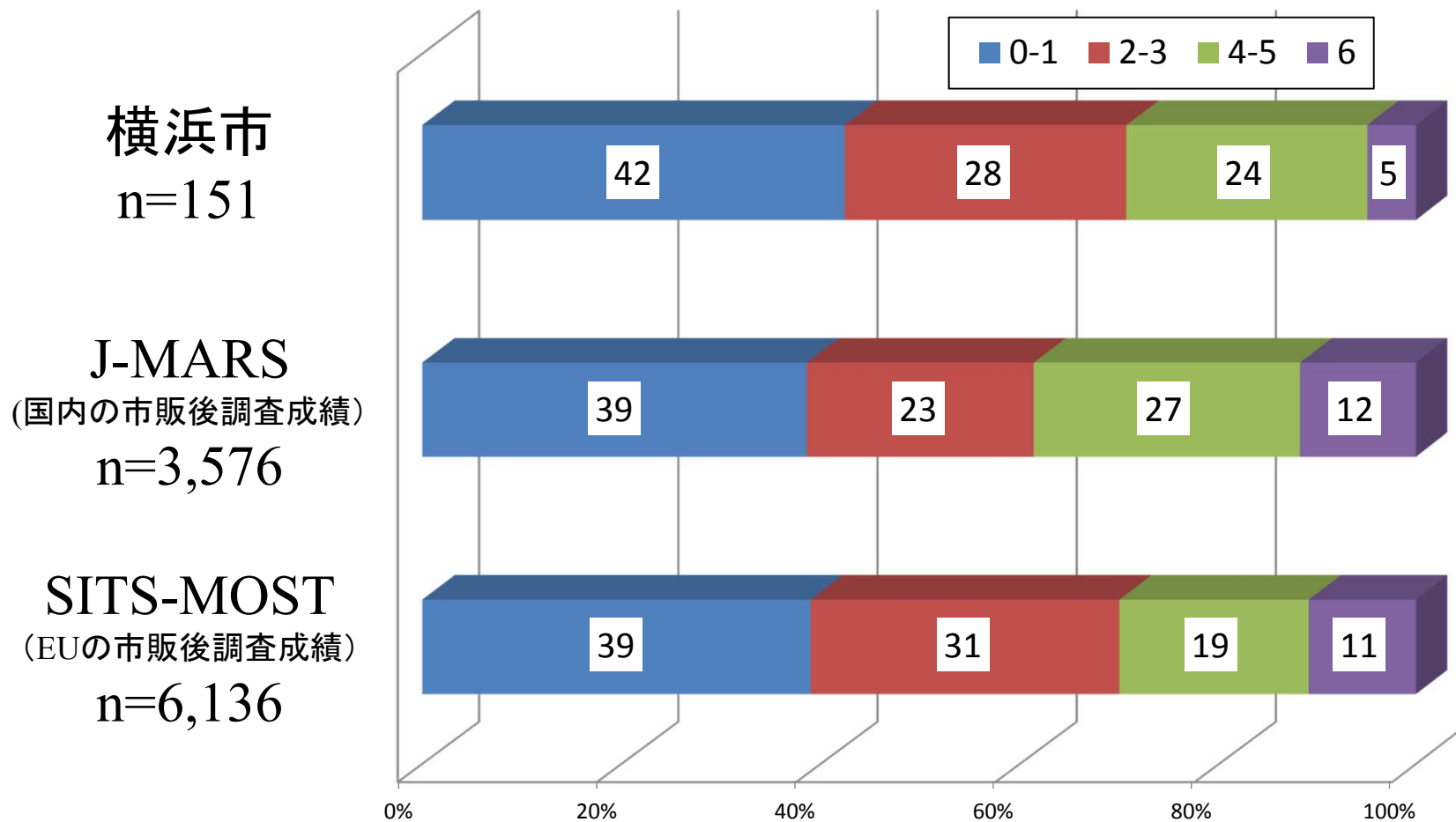
再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

mRS【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
	横浜市 【n=151(全症例数の約52%)】	42%	28%	24%
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=3,576(全症例数の約72%)】	39%	23%	27%	12%
SITS-MOST(EUの市販後調査成績) 【n=6,136】	39%	31%	19%	11%

※ NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-PA治療前に意識水準や麻痺の程度などの15の項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点となる。

6-1 平成26年度横浜市のt-PA治療実績と 国内外の市販後調査成績との比較



7 その他

J-MARS (調査期間:平成17年10月から平成19年10月)

日本国内で行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-PA静注療法の市販後調査。

SITS-MOST (調査期間:平成14年12月から平成18年4月)

EUで行われた発症3時間以内の脳梗塞に対するt-PA静注療法の市販後調査。